

ドローンインパクトチャレンジ レギュレーション

レースを開催するにあたり、競技の公平性、安全性、娯楽性をより高めるため、以下の通りレギュレーションを設定する。

- ・**競技者**は、参加受付期限までに**主催者**への申し込みを行い、承認された場合に参加資格を得るものとする。
- ・**競技者**は、申し込み時に参加予定機体が下記レギュレーションに合致していることや合致する予定であることを確認の上、**主催者**に申告する。
- ・競技参加予定機体は当日レギュレーション審査を受け、申告と相違ないか確認する。
- ・申し込み後、競技参加予定機体に変更があった際はレギュレーションに合致しているかレース当日再度審査を行い、合致していない場合**主催者**は**競技者**に改善を行うよう指示し、指定時刻までに改善がなされない場合失格とする。
- ・大会の運営に支障をきたすような事象が確認された場合、**主催者**は**競技者**或いは**参加者**に改善を求めることが出来る。改善しない場合、参加資格をはく奪または会場からの退去を命ずることが出来る。
- ・**競技者**及び**参加者**が競技資格或いは参加資格を失った場合、これに基づく参加費の返還等は一切ないものとする。
- ・レギュレーション内容に矛盾、支障等が発生した場合、当日も含め**主催者**の判断と**競技者**との合意の上、レギュレーションを変更することが出来る。

NO		マスタークラス ATV FPV部門		レギュラークラス nonFPV部門
コース	①	使用コース	マスタークラスコース（別紙記載）	レギュラークラスコース（別紙記載）
機体	②	機体種別	レギュレーション③～⑨に合致した自作機体またはそれに準ずる機体	レギュレーション③～⑨に合致した自作機体またはそれに準ずる機体
	③	サイズ	モーター軸間 305mm以下 機体最大長 330mm以下	制限なし
	④	ローター数	3～6	3～8
	⑤	ローターレイアウト	飛行に危険を伴わないこと	飛行に危険を伴わないこと
	⑥	プロペラ	直径6インチ以下 素材制限及びピッチ制限なし	制限なし 但し安全を考慮しプロペラガードを付けること
	⑦	モーター	2400kv以下 スラスト角が付いたモーター及びモーターマウントの使用は不可	制限なし
	⑧	重量	飛行に危険を伴わない重量	飛行に危険を伴わない重量
	⑨	動力源	3S LiPo/バッテリー 3000mAh以下 C値制限なし 但し、コース3周(総距離3km程度)を完走できること 参考:2200mAh 20C AUW(総重量)550gの場合 約4.8km 5-11分 :1300mAh 45C AUW(総重量)480gの場合 約4.0km 3-8分	動力源はLiPo/バッテリーとする 他制限なし
操縦電波	⑩	操縦電波	日本国内にてラジコンに使用の許可されている電波 送信機(プロポ)は技術基準適合証明等を受けた機器に限る(技適)	日本国内にてラジコンに使用の許可されている電波 送信機(プロポ)は技術基準適合証明等を受けた機器に限る(技適)
FPV	⑪	FPV 周波数	5705MHz、5740MHz、5800MHzの3波のいずれかを 使用する（レース進行上、主催者側が指定した上記3波のうち最低2波への周波数 へ適時変更できること）	－
	⑫	FPV 出力	600mw以下であること	－
	⑬	無線局免許	使用するFPV用送信機は、操縦者自らの個人局、或いは属する社団局にて、無線局免許開 局済であること レース当日 無線局免許状のコピーを持参すること(当日確認します)	－
保安	⑭	捜索及び記録装置等	機体発見用ブザー、映像記録装置の搭載を推奨 GPSの搭載を推奨	必要なし
競技者	⑮	取得資格	第四級アマチュア無線技士の操作範囲の資格を有すること レース当日 無線従事者免許を持参すること(当日確認します)	必要なし
	⑯	操縦技能	コースを周回させることを安定して行えること	目視にてコースを周回させることを安定して行えること
	⑰		FPV映像の消失、又は混信の際に安全に保持或いは着陸が出来ること	－
その他	⑱	競技ルール	コースアウトの判定、ペナルティは、コース、大会ごとに設定する	コースアウトの判定、ペナルティは、コース、大会ごとに設定する
	⑲		設定高度を越えた場合のペナルティは、コース、大会ごとに設定する	設定高度を越えた場合のペナルティは、コース、大会ごとに設定する
	⑳		目視での機体判別方法は、コース、大会ごとに設定する	目視での機体判別方法は、コース、大会ごとに設定する